

総会成功裡に終わる

■総会成功裡に終わる	1	■母校便り	4	■金蘭会ホールご案内	8	■新評議員・理事	12
■会長退任のご挨拶	2	■クラブ便り	5	■組織図	9	■学年会だより	13
■会長着任のご挨拶	3	■会務報告書	6	■母校国際交流事業報告	10	■支部この1年	15
■校長退任のご挨拶	3	■年会費・賛助金納入のお願い	6	■名簿委員会、国際グリン賞	10	■会員からのお便り	16
■校長着任のご挨拶	3	■予算・決算報告書	7	■IT、行事、組織委員会	11		

総会成功裡に終わる

昨年十月十一日に開催された総会は、好評のうちに無事終えることが出来ました。直後に感想をお寄せいただいた高等科昭和二十一年卒の島崎倭文子さんの文章に基づいて当日を振り返ってみたいと思います。

「大手前魂に触れた一日」

平成二十年十月十一日の総会は、母校在校生も卒業生も一体となった、今までにない大変ユニークで有意義な会でした。

〈第一部 総会〉 トーンセンター 七階ホールにて

野口理事・福味理事の司会により総会は開会され、まず物故者に黙祷を捧げたあと、留井実行委員長、升谷金蘭会会長、斎藤校長先生から、夫々ご挨拶がありました。



その後、母校の現況紹介や国際交流の様子を映したビデオが在校生の手で上映されました。遠く英国のベングラリス学校へ短期留学したり、オックスフォード大学を見学したりした時の様子など、澁刺とした後輩達の様子に目を見張りました。

次いで「六十二年目の卒業式」のタイトルで、平成十九年十月十一日に母校体育館で行われた卒業式の様子が映写されます。戦争中のごとく卒業式もなく果立って行かれた無念さが、六十二年目にしてようやく校長先生はじめ多くの方々の御努力で晴らされ、卒業式を挙行されるに至ったことを、共に喜ばしく嬉しく存じました。

ここで気分を一転、金蘭会会員の方々の御寄付による豪華賞品が七十三本も当たる抽選会があり、当選番号が発表されるたびに、歓声や溜息に包まれ賑やかなことでした。

(注) 特等のハイアット・リージェンシーホテル宿泊券が当たった昭和六十一年卒の景山将系さんに後日インタビューしたところ、妹さんと夫とに譲ったとのこと。見晴らしの良い部屋でとてもよかったとおっしゃっていました。



興奮の冷めやらぬ会場に、今度は母校卒業生や在校生のコーラスや吹奏楽の熱演が続き、大きな拍手が、何度も会場に響き渡りました。最後に全員が「翼を下さい」「大手前校歌」を吹奏楽の演奏をバックに合唱して会場全体が一体となった中、第一部が無事終了しました。

その後、留井実行委員長から、近畿大会へ参加する母校の吹奏楽部、茶道部への応援のため寄付を集めたいのでよろしくご協力下さいと声がかかり、喜んで協力させていただきました。



でも足しになればと存じます。後ほど懇親会場で二十万円も集まったと聞き、わずかの時間のことだったのにさすが後輩達を思う大手前先輩の集まりのことだけはあると、深く感じ入った次第です。

〈第二部 茶話会〉 トーンセンター 五階茶話会場にて

お茶を飲みながら素晴らした第二部のことを話したりお友達のことを伝え合ったりと、一時間ほど休憩してOMMビル二十階東天紅に席を移しました。

〈第三部 懇親会〉 東天紅にて

今度は大鍛治理事・横霧理事の司会で、升谷会長の挨拶のあと、斎藤校長先生の乾杯の音頭で、盛大な宴会が始まりました。

次から次へと運ばれてくる山海の珍味に舌鼓を打ち、楽しい会話に宴も酣となった時、思いがけなく当日参加されていた本科昭和二十年卒の飛田(旧姓・鈴鹿)芳子様よりビッグニュースのお知らせがありました。

平成二十年十月八日発表のノーベル物理学賞受賞者である南部陽一郎氏の夫人智恵子さんは本科昭和十四年卒で、旧姓飛田さんとのこと。湯川秀樹夫人スミさんも大手前高女の卒業生、今またノーベル賞受賞に輝く南部陽一郎氏の夫人も大手前卒業生。ここで私達が物理を習った、今は亡き宮森先生の娘しそが浮かんできました。先生の教え子が二人までもノーベル賞受賞者の夫人になられたとは、どんなにか先生のお喜びも大きいことでしょう。

ビッグニュースに湧いた宴会も終わりに近づき、米田副会長の閉会の言葉で散会となりました。懇親会のお土産には、校章入りタオルが配られました。盛会だった当日を偲ぶよい記念品となることでしょう。

末筆となりまして、

たが、今回の総会を開催するに当り大変お骨折りを下された役員の皆様やお手伝い下さった大勢の方々に厚く御礼申し上げます。こんなに心に残るよい会を開催していただき、本当に有難うございました。



当日の様子が伝わりましたでしょうか。平成卒の同窓生も大勢参加していただき、本当に和やかないいムードで、懇親を深めることが出来たと、担当者一同喜んでおります。次回にも是非ご参加よろしくお願いたします。

会長退任のご挨拶



前会長 谷 昇 博
(S27卒)

りました会長を退任することにいたしました。在任期間中は、会員の皆様方より絶大なるご支援ご協力を賜りましたこと、何と御礼申し上げます。ありがとうございました。本当に有難うございました。

金蘭会会員の皆様、その後益々お元気で全国各地で、色々な分野に於いて、活躍されておられる様子を承り、何よりの事とお慶び申し上げます。今般三期九年の永きに亘り務めて参

在任中を振り返ってみますと、金蘭会の百十周年、母校の百二十周年と二つの大きな周年行事、世代を越えた会員相互の交流がはかれた二度のオレンジツアー、十年ぶりの総会、百回のメモリアルを超え、百五十回に向けて益々活発な金蘭会セミナー、そして母校のご配慮により実施され、在校生にも強

い感銘を与えた「六十二年目の卒業式」、これらの数々のイベントが、担当された役員の方々は云うに及ばず、数多くの会員の方々のご支援・ご協力により成功裡に執り行われたことは、会長として大変幸せな事であり、改めて厚く御礼申し上げます。

卒の安橋興二郎氏にバトンタッチすることが出来ました。新会長を迎え、金蘭会の更なる発展に向け、会員皆様の倍旧のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。



会長着任のご挨拶



会長 安橋 興二郎
(S34卒)

楽しい雰囲気づくり
今年四月に開催されました本年度の第一回理事会におきまして会長に選出されました安橋興二郎(S34卒)でございます。伝統ある金蘭会の会長の任に就くことは大変な名誉であり、光栄なことであると存じております。同時にその責任の重さに身

の引締まる思いをしております。留任をお願いしました米田副会長(S21・4卒)、上川副会長(S29卒)の強力なサポートのもとで、精一杯務めさせていただきます。覚悟を新たにしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

このたび退任されました升谷前会長には、三期九年にわたり、金蘭会会長としてすぐれたリーダーシップを発揮され、見事にその職責を果たしていただきました。そのご功績を称え、ともに心からお礼申し上げます。

金蘭会は、二年後に百二十周年を迎えます。この輝かしい年に向けて、新しい体制の下で運営に取り組んでまいります。その際には、次のような点を基本にしたいと考えております。

第一は、金蘭会は、会則にも明記されておりますとおり、会員相互の親睦・向上と母校支援を目的としていることとであります。何か問題が生じたとき、あるいは判断を求められたときには、常にこの原点に立ち戻って、金蘭会の進むべき方向を見極めたいと考えております。

第二に、金蘭会は、その一員であることに誇りと喜びを感じる明るく楽しい組織であるべきだということです。会員の皆様がそのように感じ、これまでに以上に積極的に金蘭会の諸活動に参加されるようになることが金蘭会発展の基本であります。そのために、ホームページや「大手前だより」などを通じて情報公開を進める

とともに、活動の活発化、楽しい雰囲気づくりに努めたいと考えております。

第三に、金蘭会は、一〇〇歳近い大先輩から十八歳の若者まで、実に八十歳の年齢差のある組織であり、そこには必ずから、長幼の序があるべきだということです。学校の間際会は、会員は互いに人間として尊重しながら、先輩を敬い後輩をいつくしむという日本古来の美德「長幼の序」というものがなければ成り立っていかないものだと考えております。

以上、金蘭会に対する私の思いを述べてまいりましたが、この大組織を運営していくにあたり、会員の皆様のご理解と積極的なご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

校長退任のご挨拶



前校長 齋藤 良昭

金蘭会会員の皆さま、いつも大手前高校にご支援をいただきありがとうございます。
この三月末をもって定年を迎え退職いたしました。校長在任中、皆さまから暖かいご協力・ご指導を賜りましたことに対し、心よりお礼申し上げます。

四月から、私学の初芝富田林中学校高等学校に校長として勤めています。こちらは滝谷不動に近く、金剛山のふもと、自然に恵まれた美しい学校で、朝夕、鳥の声を聞きながら通学路を歩いています。創立二十五年の若々しい学校で、生徒諸君は礼儀正しく、挨拶の声が廊下に気持ちよく響いています。先生方は生徒の学力を高めるために、たいへん熱心に指導されておられます。

大手前高校では三年間お世話になりましたが、教育委員会から指定されたエル・ハイスカールの取り組み、スーパーサイエンスハイスカールの取り組みなど、公教育の課題をしっかりと受け止め、時代の先端をいく教育活動を展開できたかと思えます。大手前高校は大阪の公立高校を代表する学

校のひとつでありますが、私はその教育理念や手法を広く公表し、正しく評価されるように努めることを大切にしてまいりました。冊子やホームページなどで教育内容を報告し、平成二十年度から義務化された「学校評価」にも積極的に取り組むことができたかと思えます。

思えば毎年華やかなイベントが行われた三年間でした。一年目は創立百二十周年、二年目は六十二年目の卒業式、三年目はスーパーサイエンスハイスカールの指定。コーラス大会を毎年外部会場で開催したことや、さまざまな国際交流など、生徒諸君にとつて、卒業生とのつながりを自覚し、大手前の生徒として伝統を重んじる気風を育めたと思えます。それと同時に、生徒諸君

は数学や理科のコンクールでの入賞に見られるように、卓越した学力を見せてくれましたし、毎年の進学実績でもよく健闘してくれました。

私学に転じましても、大阪の公教育の水準を高めるといふ点では変わりはありません。公私が競い合い、協調しあつて、ともに大阪の子どもたちにたくましい学力を育てることが、今ほど大切な時はありません。重責を果たすべく、全力を尽くしてまいりたいと存じます。末筆ながら大手前高校と金蘭会のいっそうの発展と会員皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

校長着任のご挨拶



校長 田 哲次

金蘭会会員の皆様には、永年に渡り本校の教育活動を支えていただいておりますことに對し心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

齋藤前校長の後を受け四月一日に赴任いたしました。昨年度までは、大阪府としては初めてのタイプの高等支援学校づくり

に携わっておりました。齋藤前校長とは、府教育委員会で共に高校の再編・整備に携わり、その後、私は大阪府の永年の課題でありました高等学校の通学区の改編を担当いたしました。赴任後、校長室の掛け軸や出土品また書庫の資料を拜見するにつけ、改めて学校の歴史と伝統また先人の皆様のご努力を痛感しております。三月二十七日の夕方、校長室で升谷博前金蘭会会長にご挨拶をさせていただきました。四月十二日(日)に出席させていただきました阪神支部の総会には、七十名ほどの方が参加されておりましたが、その一割の方が九十才を越えておられて元気な様子でいられたことには改めて伝統ある学校であることを感じ、責任の重さを痛感いたしました。

現在、毎日、早朝から校舎に響く部活動の元気な掛け声やコーラス大会に向けてクラスで熱心に練習に励んでいる歌声を聴きながら青春の息吹を感じています。

本校は平成十四年度に大阪府からエル・ハイスカールの指定を受け、次代をリードする人材育成研究開発重点校にふさわしい教育内容を工夫してきましたが、平成二十年度には、文部科学省から五年間のスーパーサイエンスハイスカール(SSH)に指定され、将来の国際的な科学技術系人材の育成を目標として更に充実した学習環境づくりに挑戦しています。今年度は、SSH事業の一環として他校と連携して「数学」に特化した研究活動を行い、来年三月に大韓民国・タイ王国・中華人民共和

国から高校生を招聘し、「高校生国際科学会議」を開催すべく準備を進めております。このような様々な取り組みを通して、生徒が多くの他校の生徒また海外の生徒と共に学び合うことで、各自が将来の目標をしっかりと見据えて日々の勉学に勤しむことが出来ると確信しております。

今年度、金蘭会会長となられた安橋興二郎氏のもと益々の金蘭会のご発展を祈念申し上げますとともに、私ども教職員が丸となつて、金蘭会の皆様がこれまで築いてこられました伝統を護り発展させていくことをお誓いして、着任のご挨拶とさせていただきます。

母校便り

◆本年度の人事異動(順不同)

【退職された方】

斎藤 良昭 校長先生
初芝富田林中学校高等学校校長へ
簡井 啓行 先生(理科)
再任用として本校で勤務

【転勤された方】

渡辺 廣之 先生(国語) 府立高津高校へ
松山 晴彦 先生(理科) 府立春日丘高校へ
古川 良祐 先生(保健体育) 府立茨木工科高校へ
砂川 ゆかり 先生(英語) 府立芦間高校へ
藪内 葉子 先生(養護) 府立金岡高校へ
勝間 妙子 先生(実助) 府立花園高校へ
山本 真理子 主事(事務) 府立東淀川高校へ

【着任された方】

原田 哲次 校長先生 府立たまたがわ高等学校より
水山 知春 先生(国語) 新任
田頭 修 先生(数学) 府立島飼高校より
板口 徹郎 先生(理科) 府立野崎高校より
喜多村 滋 先生(理科) 府立旭高校より(再任用)
井上 純子 先生(理科) 府立四條畷北高校より
藤田 俊和 先生(保健体育) 府立今宮工科高校より
蜂谷 純子 先生(英語) 府立東住吉高校より
兼崎 信一郎 先生(英語) 府立野崎高校より
大川 香理 先生(養護) 府立守口東高校より
多田 啓子 主事(事務) 府立勝山高校より
(講師は含まれていません)

SSH国際交流振興会 基金拠出のお願い

校長の挨拶にもございますように、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の事業として、来年三月に「高校生国際科学会議」を開催する予定です。(詳細につきましては、3ページ、SSHの項をご覧ください。)

この事業は国の予算によつて基本的に運営されるのですが、海外からの招聘費用等規定により支出できない部分がございます。そこで、標記基金を設立し、この会議の趣旨に御賛同いただきました個人・団体様よりの拠出金をもつて資金の不足を補うこととなりました。本基金への拠出を、各期・支部の周年行事等の企画の一端に加えていただければ幸いです。

本基金に興味・関心をお持ちの方、詳細をお知りになりたい方は、学校まで御一報下さい。SSH国際交流振興会の趣意書・規約・基金拠出申込書等必要書類を送付させていただきます。

連絡先
〒540-0008 大阪府中央区大手前1-11-1
大阪府立大手前高等学校 教頭 戸田 徹
事務部長 酒井 徹
(電話)〇六-六九四-一〇〇五

第十四回金蘭会母校支援文化行事及び集中セミナー

平成二十年度の文化行事は演劇で、十月十五日(水)大阪府立青少年会館大ホールにおいて「十二人の怒れる男たち」を鑑賞しました。また、毎年十二月、後期中間考査後の二日間、二・三年生全員を対象に、将来の進路を考え、視野を広げるため、外部の講師を学校へお招きしたり、大学・研究所・事業所など様々な施設を訪れたりする「集中セミナー」を行っています。以下は参加した生徒の感想文の一部です。

【文化行事】

○陪審員の話だということ、難しく堅苦しい演劇なのだろうと思つていたけれども、とても見やすく、話の中に入り込めました。緒になつて、いろいろと自分の考えを巡らせました。陪審員はとても貴重な体験になるので、やってみたいと思いました。軽い気持ちでなく、人ひとりの運命を背負っているというところを踏まえた上で評議を行うこと。その大切さもよく分かりました。

○本当に二人、個性的なキャラクターを熱演されていて、見ていてこちらまで気迫が伝わってきました。演劇をずっと観たいと思いがちでも見る機会が長い間なく、当日まで楽しみにしていたので、良かったです。一時間四十分の間、自らのキャラクターを演じ続けるのは、とても大変なことだと思います。

【集中セミナー】

○「パートナー募集中心」(株)リクルート
リクルート社は読者と企業との間を取り持つている所なのだと思ひました。印象に残ったのは、社員同士がとても仲良く、明るい職場だということです。インタビューでお話しした方も、とても明るく優しくしたので、あまり緊張もせず話すことができました。

参加して本当に楽しかったです。私たちのことを真剣に考えてプログラムを作ってくれたことが、とても嬉しかったです。今回の経験を活かし、これから将来に向かっていきたいと思ひます。

○「耳原総合病院 医師・看護士体験」
やはり一番印象に残ったのは、看護士さんが患者さんと話す時の笑顔と優しさです。本当に感動しました。努力して作っているようには全く見えなくて、自然とそうなるという感じでした。

私が今日体験したのは、お年寄りの病棟だったので、看護士さんの笑顔のせいか、患者さんもうつらい注射などの後も「ありがと」と笑顔で応えていて、笑顔で、こんなにも人を元気づけるんだなあと思ひました。

私がもし看護士になつても、いつもこんな笑顔でいられるのか、優しく接することができると不安になりました。人が苦しんでいる時に、少しでもつらさをやわらげて上げられる看護士という仕事に、今まで以上に魅力を感じました。

○「近代文学と与謝野晶子」
与謝野晶子という「みだれ髪」や「君死にたまふことなかれ」を書いた歌人であり詩人であるということとしか知りませんでした。学校教育者でもあり、童話も書き、古典文学の現代語訳もしていたことを知り、驚きました。年譜を見ても、ほとんど毎年、歌集や評論集を刊行していて、生涯に詠んだ歌が約五万

首とも言われているのも凄くと思います。「駄獣の群」は、読んでいてよく逮捕されなかったと、治安維持法の十年前ですが、戦前の日本でこんなことを言うて大丈夫だったのかなと思ひました。でも、それだけ自分の意志を強く持つて行動できる人だったのだなと感じました。

今まで近代文学にも和歌にもほとんど興味がなく、近代史もあまり好きではありませんでしたが、本当におもしろかったです。これを機に、与謝野晶子の歌集を読みたいと思ひました。

◆平成21年度 主な大学合格状況

東京大学	7名
京都大学	38名
大阪大学	20名
神戸大学	23名
大阪市立大学	28名
大阪府立大学	25名
大阪教育大学	16名
関西学院大学	73名
関西大学	80名
同志社大学	74名
立命館大学	78名
早稲田大学	2名
慶応義塾大学	5名

計 報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心から冥福をお祈り申し上げます。
平成二十一年十一月二十九日
坪井 明 先生

(昭和四十二年四月から四十六年三月まで本校校長)
※追悼文が十一頁にあります

体験入学について

六月二十七日(土)に中学三年生対象の体験入学が行われました。十月二十四日(土)には中学三年生を対象に、また、二月六日(土)には中学一・二年生及び小学生を対象に学校説明会を開催します。

平成20年度

高校総体(インターハイ)出場選手

【陸上部】

岩橋 優(3年) 女子800m準決勝進出

※学年は昨年当時のもの

クラブ便り

文化系

- ESS部
平成17年度第45回大阪高等学校英語暗唱・弁論大会弁論の部第2位。
近畿高等学校英語スピーチコンテスト出場、暗唱の部第5位。
平成20年度第48回大阪高校英語暗唱弁論大会出場。暗唱の部第5位。
平成20年度梅花女子大学主催第55回高等学校英語弁論大会出場。
- 文芸部
例年、春の文化系クラブ発表会、秋の文化祭に合わせて部誌「傾いた天井」を発行し、作品を発表。通常は週1〜2回様々なゲームを取り入れて活動。
- 美術部
第59回大阪府高等学校美術工芸展に出品、第23回第3学区高等学校美術工芸展に出品
上記展覧会および大阪府高等学校美術文化祭(美術工芸部門)において入賞歴がある。
第60回大阪府高等学校美術工芸展に出品(絵画)
- 音楽部
校内では文化系クラブ発表会・文化祭で発表、その他ライブを実施
校外ではスニーカーエイジに毎年出場(グランプリ大会出場経験あり)
- 吹奏楽部
近畿高校芸術文化祭(徳島大会)吹奏楽部門府代表奨励賞。
大阪府音楽会、第3ブロック音楽会、大阪府アンサンブルコンテスト 金管6重奏銀賞
吹奏楽コンクール北地区大会銀賞
狭山市ソロコンテスト フルート・チューバ・クラリネット金賞。
校内の学校行事において、文化祭・文化系クラブ発表会・体育大会・卒業式・入学式など
で演奏
第6回定期演奏会「フェリーチェ・コンサート」(H21.3.29)旭区民ホール
- 茶道部
平成20年11月、第28回近畿高等学校総合芸術文化祭・徳島大会茶道部門に大阪府
代表として参加。平成21年1月、大阪府高等学校芸術文化連盟開会行事に参加。
文化祭・国際交流行事、校内にて年に数回のお茶会開催。
英国交流では金蘭会館にてお別れ会、中国交流生歓迎・メコン5ヶ国交流生歓迎茶会参加。
- 演劇部
平成18年度大阪府A地区演劇研究大会出場、優秀賞、創作脚本賞受賞(優秀賞は
2年連続受賞)
平成19年度大阪府A地区演劇研究大会出場
平成20年度大阪府A地区演劇研究大会出場、個人演技賞受賞
- 生物部
長期にわたってウーパールーパー(メキシコサンショウウオ)の飼育を継続。
大阪府高等学校生物教育研究会主催の指標生物調査(河川の生物・水質の現地調査・
セミの抜け殻調査)も行った。文化系クラブ発表会や文化祭では生き物や標本を展示した。
- 理化学研究部
3ヵ月ごとにテーマを取り上げ実験を行う。
(実施したテーマ:色素増感太陽電池、大気中の二酸化窒素の検出・定量、食品中の
ビタミンCの定量、水の硬度測定) 部員毎に各自で考えたテーマに基づいて研究活動
- 書道部
「感性」に重点をおいて活動している。古典に学びながら、作品を創り上げている。
国際交流で外国のお客様のあるときには一緒に書道を楽しみ、日本文化や日本特有の
美の世界に触れる機会を提供している。
- 漫画研究部
校内行事である文化系クラブ発表会と文化祭に合わせて年2回部誌を発行。
文化祭ではオフセット印刷による部誌も別途発行した。
- 数学研究同好会
平成20年度日本数学コンクールにて部員1名が優秀賞を受賞。
東京での表彰と強化学習に招待された。
- アットホーム同好会
月に1〜3回程度、調理室でお菓子を作ります。また、文化祭ではお菓子の家の展示をし、
ブックカバーを販売。年に数回、生徒を対象としたお菓子講習会も実施。
- ボランティア同好会
文化祭の時に、アジアの子供たちの絵画を展示して、ユニセフグッズと月桂樹の葉を販売。
収益の約39000円をユニセフとアジア協会アジア友の会に送った。
4月あしなが学生募金の募金活動に参加
- 園芸同好会
中庭に季節の花を植え、校庭外周の緑の手入れをする。野菜苗を植え、観察する。
大阪府道路環境課と協力してアドブロードに参加。
ツタンカーメン王の墓から出土したと言われるえんどう豆を植え、収穫して次年度に引き継ぐ。
- 放送委員会
自治会行事(新入生オリエンテーションの部活動紹介、コーラス大会、文化祭、体育大会)
での案内放送を行ったり司会を務めたりしている。
- 図書委員会
1年に4回、Library Times(図書委員会通信)を発行。コキト(図書館報)に「図書委
員の推薦図書」を掲載。昼休み・放課後の図書貸出・返却等カウンター業務、蔵書整理
等。読書推進運動の一環として20年度文化祭では手作りのしおり・ブッククリップ・カード
スタンド・古本を販売し、売上金を寄付した。
- 映画研究同好会
平成20年度から発足した同好会。
- 鉄道研究同好会
平成20年度から発足した同好会。
- クイズ同好会
平成20年度から発足した同好会。

運動系

- 水泳部
飛込みの部:インターハイ出場 高飛込み5位入賞、板飛込み5位入賞(平成17年度)
競泳の部:インターハイ出場(平成18年度)
飛込みの部:インターハイ出場(平成18年度)
大阪府新人大会入賞数人(平成19年度)
- 登山部
夏合宿は上高地〜槍ヶ岳〜新穂高。その他、2ヶ月に1度程度、近畿の山に登る。

- 硬式野球部
平成20年度 大阪高校夏季大会初戦敗退
平成21年度 大阪高校春季大会初戦敗退
- 陸上競技部
平成20年度 全国インターハイ大阪予選女子800m2位、近畿IH6位、全国IH(埼玉)
に出場し準決勝進出。
大阪高校総体1年男子三段跳3位、近畿ユース6位。
大阪高校秋季地区大会
男子の部1500m1位、円盤投3位、走幅跳3位、4×100mR2位、4×400mR2位
女子の部400H2位、4×100mR3位。
女子800m、男子三段跳は大阪高体連の強化選手として活躍した。
平成21年度 大阪高校選手権地区予選会 8種競技第1位、男子200m第6位、
女子400mH第5位、
大阪インターハイ 8種競技第4位入賞
- ソフトテニス部
平成20年度大阪高校春季大会中央大会出場(男子)
平成20年度大阪高校総体団体予選1位、中央大会出場(女子)
平成20年度大阪府軟式テニス公立校大会 中央大会出場(女子)
平成21年度大阪高校春季大会中央大会出場(男子・女子)
- 硬式テニス部
女子:大阪高校春季テニス大会(単・複)本戦出場
大阪高校総体テニス大会(複)本戦出場
学区テニストーナメント(単)本戦出場(団体)3位
男子:サマーテニストーナメント(単)本戦出場
学区テニストーナメント(単)本戦出場(団体)3位
平成21年度 女子:大阪高校春季テニス大会(単・複)本戦出場
- 柔道部
インターハイ大阪府予選出場、近畿大会大阪府予選兼新人大会出場
大阪市北地区大会個人優勝
大阪市北地区大会・高校選手権個人優勝
インターハイ、新人戦出場
- サッカー部
春季大会(4月)3回戦進出。大阪高校総体(9月)、新人サッカー大会(1月)3回戦進出。
大阪U18サッカーリーグ(大阪市ブロック)に出場。
- 卓球部
平成20年度大阪高校卓球選手権大会シングルス ベスト32
大阪高校新人卓球大会、団体ベスト16、シングルス ベスト32
大阪高校総体ベスト16
平成21年度大阪高校卓球選手権大会 団体ベスト32
- 軟式野球部
全国高等学校軟式野球選手権大阪大会2回戦進出
大阪府軟式野球公立大会2勝。平成20年度春季大会ベスト8
秋季大会大阪府ベスト4。平成21年度大阪府春季大会ベスト16
- 男子バレーボール部
総合体育大会東地区2位
平成20年度 春季大会部別2部リーグ3位
平成20年度 新人大会部別2部リーグ2位
平成21年度 春季大会部別1部リーグ3位
平成21年度 大阪高校総体予選 第3回戦進出
- 女子バレーボール部
平成20年度 大阪高校総体予選参加
平成20年度 春季大会部別1部リーグ2位
平成20年度 新人大会部別1部リーグ3位
平成21年度 春季大会部別2部リーグ2位
平成21年度 大阪高校総体予選参加
- 男子バスケットボール部
平成20年度インターハイ予選4回戦敗退
全国高校バスケットボール大阪府予選、大阪総体新人戦3回戦敗退
大阪高校総体2回戦敗退、西地区府立高校大会準優勝
- 女子バスケットボール部
平成20年度インターハイ予選2回戦敗退
全国高校バスケットボール大阪府予選、大阪総体予選、大阪高校新人戦に出場。
西地区府立高校大会18位
- ラグビー部
年間練習試合約30試合、夏合宿(4泊5日)実施
春季大会(リーグ戦)3勝、夏期合宿実施、全国大会予選準々決勝(2回戦)進出
- 剣道部
平成20年度大阪府立高校第二学区剣道練成大会(男子団体2位、女子団体2位、女
子個人3位、平成21年3月)
第4回大阪公立高等学校剣道練成大会(女子団体ベスト16 平成21年4月)
- ダンス部
文化系クラブ発表会、文化祭(全日制、定時制)での発表(校内)。
平成20年4月:オーストラリア・クイーンランドフレンドシップワークショップに参加。
NHKで放送される。5月:NHKホールのイベントに出演。
10月:メコン5ヶ国国際交流会に出演。
11月:大阪府高校保健体育研究会第49回創作ダンス発表会優秀賞、
近畿高校総合文化祭開会式に出演。
- バドミントン同好会
週3回火金に、本校中庭で練習。体育館が使用できる時には試合をしったりしています。
- 合気道同好会
20名程度で活動中。春日丘高校、北千里高校、北野高校や京都大学との合同稽古に参加。
夏期休業中には北野高校との合同合宿を行った。また本校の国際交流行事にて合気
道の紹介を行った。6月に3年生が昇段試験を受験。

会務報告書

平成二十年度 事業報告

一、一般事業

(1) 定時評議員会

平成二十年四月二十六日(土)

於 金蘭会ホール

(出席四十二名・委任状百三名 成立)

(2) 事業報告 決算報告 承認

(3) 事業計画 収支予算 承認

二、理事會

第一回 平成二十年 五月 十七日(土)

第二回 平成二十年 七月 五日(土)

第三回 平成二十年 九月 十三日(土)

第四回 平成二十年十二月 六日(土)

第五回 平成二十年 三月 七日(土)

第六回 平成二十年 四月 十八日(土)

(4) 「大手前だより」発行

平成二十年七月

(5) 新入会員歓迎会

平成二十年九月七日(日)

於 金蘭会ホール

(新入会員百三十四名・先生十名 出席)

(6) 新年互礼会

平成二十一年一月二十四日(土)

於 金蘭会ホール

(来賓四名・会員五十七名 出席)

二、特別事業

(1) 総会開催

平成二十年十月十一日(土)

第一回・第二回 於 ドーンセンター

第三回 於 東天紅

母校主催事業に対する援助

母校国際交流事業に対する援助

第十二回国際グリン賞の予備選考

金蘭会セミナー

パソコンスクール運営

役員選出委員会設置 平成二十年九月十三日

金蘭会セミナー開催日

第二七回 平成二十年 四月 十八日(金)

第二八回 平成二十年 五月 十六日(金)

第二九回 平成二十年 六月 二十日(金)

第三〇回 平成二十年 七月 十八日(金)

第三一回 平成二十年 九月 十九日(金)

第三二回 平成二十年 十月 十七日(金)

第三三回 平成二十年十一月 二十一日(金)

第三四回 平成二十一年一月 十六日(金)

第三五回 平成二十一年二月 二十日(金)

第三六回 平成二十一年三月 二十七日(金)

平成二十一年度 事業計画

一、一般事業

(1) 定時評議員会

平成二十一年四月二十五日(土)

於 金蘭会ホール

「大手前だより」発行

平成二十一年七月

新入会員歓迎会

平成二十一年九月六日(日)

於 金蘭会ホール

新年互礼会

平成二十二年一月二十三日(土)

於 金蘭会ホール

ホームページ運営

二、特別事業

母校主催事業に対する援助

母校国際交流事業に対する援助

第十二回国際グリン賞最終選考と贈呈

金蘭会セミナー

パソコンスクール運営

三、理事會開催予定日

第一回 平成二十一年四月二十五日(土)

第二回 平成二十一年五月二十三日(土)

第三回 平成二十一年七月 四日(土)

第四回 平成二十一年九月 十二日(土)

第五回 平成二十一年十二月 五日(土)

第六回 平成二十二年三月 六日(土)

第七回 平成二十二年四月 十七日(土)

四、金蘭会セミナー開催予定日

第二七回 平成二十一年四月 十七日(金)

第二八回 平成二十一年五月 十五日(金)

第二九回 平成二十一年六月 十九日(金)

第三〇回 平成二十一年七月 十七日(金)

第三一回 平成二十一年九月 十八日(金)

第三二回 平成二十一年十月 十六日(金)

第三三回 平成二十一年十一月 二十日(金)

第三四回 平成二十一年十二月 十五日(金)

第三五回 平成二十二年二月 十九日(金)

金蘭会活動を支えるのは

皆様の年会費です

昨年も年会費¥20000(卒業後5年間は免除)を納めていただいた2828名の皆様ご協力本当に有難うございました。

また、7年前より新たに賛助金(¥2000)の呼びかけをさせていただいていますが、さらなる負担にもかかわらず、昨年も1020口ものご厚意を頂戴いたしました。本当に有難うございました。

お陰様で、昨年度も金蘭会活動を滞りなく行うことができました。会員皆様のご協力に感謝しております。

母校の国際交流事業は、有意義な事業として定着し、母校の魅力のひとつとなっております。今年は英国へ派遣する年です。

昨年は、総会が別記事の通り開催され、学校・在校生にもご協力いただき、お陰様で盛会に終えることができました。

決算書や予算書でお分かりのように、金蘭会の活動を円滑に維持して行くには、幅広い皆様の協力とご支援なしには成り立ちません。

今年度の年会費は平成16年までに卒業された方によりしくお願いいたします。(平成17年・平成21年卒業の方は免除)

年会費(¥2000)及び賛助金(一口¥2000)となつてもは「大手前だより」に同封の振込用紙をご利用下さい。

一人でも多くの皆様のご理解とご協力をよりしくお願い申し上げます。

最後に、振込をしてくださる方へお願いがございます。郵政民営化後に郵便振込の窓口扱いの手数料が150円になりました。

機械式(ATM)の場合は従来通り60円となりますので、ご面倒をおかけしますが、ATMの利用をお願いいたします。ATMは、通帳がなくとも、現金で振り込めます。(銀行のATMより簡単な操作です)

(会計理事 S40卒 田原由夫)

振込はATMを

ご利用ください

賛助金ご協力のお礼とお願い

金蘭会の財政基盤を安定させ、同窓会の事業運営を円滑に進めるため、例年、年会費のほかに「賛助金」のご協力を会員の皆様をお願いしておりますが、昨年度は621名の方から204万円の賛助をいただきました。ご厚志を心から感謝申し上げます。

現在、母校の教育活動の中で、他校に比して誇れる取り組みとしては、国際交流と集中セミナーがありますが、その運営にあたっては、金蘭会からの経済的支援が大いに役立っていることをご報告させていただきます。

昨年、母校は国からスーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、また本年は、大阪府から進学指導特色校の指定を受け、大学進学実績の向上にさらに力を入れることになりました。

このように、ますます発展する母校に対し、同窓会としても強力にバックアップして参りたいと考えておりますので、会員の皆様方には引き続きご厚志を頂戴いたしたく存じます。事情ご賢察のうえ、絶大なご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(会長 安橋興二郎)

平成21年度予算

一般会計

(1) 収入の部

単位(円)

科目	目	予算	備考
人	会 金	1,625,000	@5000×325名
賛	助 金	1,800,000	
会	費	5,500,000	@2000×2750名
名	簿 売 上	100,000	
会	館 利 用 料・他	230,000	
財	団 法 人 金 庫 会 補 助 金	-	
寄	付	-	
(小計)		(9,255,000)	
前	期 繰 越 剰 余 金	20,382,045	
合	計	29,637,045	

(2) 支出の部

単位(円)

科目	目	予算	備考
[運 営 費]		[3,338,500]	
事	務 局 費	2,688,500	明細の通り
会	議 費	200,000	理事会・評議員会・新年互礼会
慶	弔 費	450,000	卒業生への祝儀子他
[一 般 事 業 費]		[3,420,000]	
大	手 前 だ け 行 費	2,500,000	
新	入 会 員 歓 迎 会	450,000	
I	T 関 連 費	470,000	
[特 別 事 業 費]		[3,060,000]	
母	校 へ の 支 援	1,000,000	
母	校 の 国 際 交 流 事 業 支 援	1,200,000	
金	庫 会 セ ミ ナ ー 補 助 金	300,000	
国	際 グ リ ム 賞	500,000	(財)金庫会と合計して100万円
文	庫 資 料 補 修	30,000	
会	員 名 簿 整 備	30,000	
総	会 費 用	-	
[予 備 費]		[600,000]	
(小計)		(10,418,500)	
次	期 繰 越 金	19,218,545	
合	計	29,637,045	

(3) 事務局費明細

単位(円)

科目	目	予算	備考
運	営 助 手 手 当	700,000	
交	通 費	5,000	
事	務 用 品 費	300,000	コピー代、封筒代他
通	信 費	250,000	
印	刷 費	250,000	払込票他
電	話 料	100,000	ファックス料を含む
会	館 運 営 費	440,000	清掃費、光熱・メンテナンス料他
払	込 料	300,000	会費・賛助金等の払込料
リ	ー ス 料	283,500	コピー機のリース料
雑	費	60,000	火災・損害保険料、振込料他
合	計	2,688,500	

付1 改築費

単位(円)

科目	目	金額
前	期 繰 越 金	1,411,480
2	階 ト イ レ の 改 装	514,500
次	期 繰 越 金	896,980

付2 金庫会創立110周年基金

単位(円)

科目	目	金額
前	期 繰 越 金	5,072,590

付3 母校国際交流事業 金庫会奨学金基金

単位(円)

科目	目	金額
前	期 繰 越 金	600,000

付4 オレンジツアー準備金

単位(円)

科目	目	金額
前	期 繰 越 金	478,728

平成20年度決算報告書

(平成21年 3月31日現在)

1 一般会計

(1) 収入の部

単位(円)

科目	目	予算	決算	備考
人	会 金	1,580,000	1,570,000	@5000×314名
賛	助 金	2,000,000	2,040,000	
会	費	6,000,000	5,656,000	@2000×2828名 参考4
名	簿 売 上	150,000	244,665	残163冊 参考5
会	館 利 用 料・他	250,000	237,991	
財	団 法 人 金 庫 会 補 助 金	400,000	400,000	
寄	付	-	80,657	
(小計)		(10,380,000)	(10,229,313)	
前	期 繰 越 剰 余 金	18,813,762	18,813,762	
合	計	29,193,762	29,043,075	

(2) 支出の部

単位(円)

科目	目	予算	決算	備考
[運 営 費]		[3,125,900]	[2,895,602]	
事	務 局 費	2,635,900	2,408,232	明細の通り
会	議 費	140,000	162,186	理事会・評議員会・新年互礼会
慶	弔 費	350,000	325,184	卒業生への祝儀子他 参考2
[一 般 事 業 費]		[3,500,000]	[2,684,845]	
大	手 前 だ け 行 費	2,500,000	2,156,128	
新	入 会 員 歓 迎 会	450,000	368,847	参考3
I	T 関 連 費	550,000	159,870	
[特 別 事 業 費]		[3,460,000]	[3,080,583]	
母	校 へ の 支 援	1,000,000	1,000,000	
母	校 の 国 際 交 流 事 業 支 援	400,000	400,000	
金	庫 会 セ ミ ナ ー 補 助 金	300,000	208,668	参考1
国	際 グ リ ム 賞	500,000	500,000	新金庫会と合計して100万円
文	庫 資 料 補 修	30,000	-	
会	員 名 簿 整 備	30,000	5,190	
総	会 費 用	1,200,000	966,725	参考6
[予 備 費]		[300,000]	-	
(小計)		(10,385,900)	(8,661,030)	
次	期 繰 越 金	18,807,862	20,382,045	
合	計	29,193,762	29,043,075	

(3) 事務局費明細

単位(円)

科目	目	予算	決算	備考
運	営 助 手 手 当	700,000	722,350	
交	通 費	5,000	-	
事	務 用 品 費	350,000	225,364	
通	信 費	200,000	245,816	
印	刷 費	200,000	180,732	
電	話 料	110,000	111,924	
会	館 運 営 費	440,000	299,321	
払	込 料	300,000	294,500	
リ	ー ス 料	270,000	270,900	
雑	費	60,000	57,325	
合	計	2,635,900	2,408,232	

付1 改築費

単位(円)

科目	目	金額
前	期 繰 越 金	1,621,480
内	装 一 部 改 修 (7月17日)	210,000
次	期 繰 越 金	1,411,480

付2 金庫会創立110周年基金

単位(円)

科目	目	金額
前	期 繰 越 金	5,272,590
金	庫 会 学 習 研 究 費 金 (4月28日)	200,000
次	期 繰 越 金	5,072,590

付3 母校国際交流事業 金庫会奨学金基金

単位(円)

科目	目	金額
前	期 繰 越 金	600,000

付4 オレンジ準備金

単位(円)

科目	目	金額
前	期 繰 越 金	478,728

参考6 総会収支報告

単位(円)

収入	金額
前期繰越金	1,370,000
平成20年度会費	31,000
一 般 会 員 費	996,725
寄 付	190,000
合 計	2,593,725

支出

単位(円)

科目	金額
総 計	1,068,124
期 間 費	1,304,601
合 計	2,363,725

現物の寄付

ハイツ・ホテル・ラクス・スイート・ルーム(ババ)飲食付前席・電子辞書・ハンディ・ビデオ・ポスター・バスケット・財布・靴入れ・おしやかし・時計・フタ・各・各・各・各

参考1 セミナー収支報告

単位(円)

収入科目	金額	支出科目	金額
年会費	224,000	通信費	226,000
寄 付	27,000	講演料	100,000
当日会費	959,500	食 費	1,021,748
一般会計	208,668	方法・備品	71,420
合 計	1,419,168	合 計	1,419,168

参考2 新年互礼会収支報告

単位(円)

収入科目	金額	支出科目	金額
金庫会費	295,000	会 費	272,796
寄 付	40,000	参加費・食品	90,665
一般会計	38,544	案内板印刷	10,083
合 計	373,544	合 計	373,544

参考3 新入会員歓迎会収支報告

単位(円)

収入科目	金額	支出科目	金額
寄 付	93,633	会 費	337,118
一般会計	368,847	参加費・食品	114,227
合 計	462,480	雑 費	11,135
		合 計	462,480

参考5 名簿売上収支

単位(円)

収入科目	金額	支出科目	金額
購入申込金	341,000	経理・経理	93,500
		販入手数料	2,835
		一般会計へ	244,665
合 計	341,000	合 計	341,000

参考4-1 平成20年度会費

参考4-2 預り会費

平成20年度会費	金額	前 期 繰 越 金	金額
上記の内・本年度分	-134,000	上記の内・本年度分	-188,000
前年度分・本年度分	+188,000	本年度分・前年度分	+134,000
平成20年度会費	5,656,000	次 期 繰 越 金	684,000

2 財産目録 (平成21年3月31日現在)

資産	金額	負債・基金・剰余金	金額
現 金	14,871	金庫会館改築基金	35,746,520
普通預金	4,347,384	同上改築費残高	1,411,480
(三井住友B/K天満橋)	14	次年度以降会費預り分	684,000
郵便貯金	24,212,031	オレンジツアー準備金	478,728
(中之島郵便局)		金庫会創立110周年基金	5,072,590
金庫会館設備	23,971,530	金庫会奨学金基金	600,000
同上什器備品	11,774,990		
電話加入権	54,543	剰余金(期末繰越剰余金)	20,382,045
合 計	64,375,363	合 計	64,375,363

平成21年3月31日

金庫会 会計理事 田原 由夫

会計理事 平松 美樹

監 査 報 告

このたび平成20年4月1日から平成21年3月31日までの決算について、監査をおこないましたところ、適正にして正確でありましたことをご報告申し上げます。

平成21年4月11日

金庫会 監事 勝部 慶次

監事 藤岡美紗子

ルご案内

運営委員会

会セミナー 第13期報告

講 演	講 師	参加者
くる	大 川 友 之氏(S62卒) 薬 剤 師	81
と日本…そして世界	真 田 正 明氏(S50卒) 朝日新聞論説委員	92
の話 パートII う栽培家が語る良いワインづくり～	赤 松 英 一氏(S40卒) 中央葡萄酒株式会社(グレイスワイン) 参与	73
?テレビか?どっちもか? 記者の取材ファイルより～	細 田 正 和氏(S50卒) 共同通信社文化部長	96
からの起業 でのクリーニング事業開業から今日まで～	福 村 哲 郎氏(S26卒) 夫人栄整衣(上海)有限公司 董事長兼總經理	89
るラグビー創造	横 井 章氏(S35卒) 日本オリジナルラグビー クリエイター	106
書のお話」 を争続にしないためのポイント～	相 間 宏 章氏(S57卒) 中央税理士法人 代表社員 近畿税理士会 制度部副部長	104
の台所—大阪」の礎を築いた『淀屋』	蒲 田 建 三氏(S36卒) 淀屋研究会幹事	93
オから万能細胞の特許まで で習った世界史・日本史を基に 度の発展をたどる～	小 島 一 晃氏(S29卒) 弁理士	90
決まっているか。 望気と未来予知～	藤 本 実氏(S46卒) 精華科学研究所所長	未

金蘭会ホール使用要領

1. 使用対象者
金蘭会会員
金蘭会会長又は大手前高等学校長が認めた者
2. 使用可能日時
火、木、土曜日
午前11時～午後4時
午後5時～午後8時
3. 申込について
①事務局に申込み。
TEL 06-6942-3947 FAX 06-6942-4124
使用希望日が重複した場合は先着順。
②事務局から申込者に申込用紙を送る。
③申込者は用紙に所定事項を記入して事務局に送る。
④事務局より申込者へ許可証を送る。
⑤許可証を当日持参のこと。
⑥許可、軽食等の出前希望のときは、申込書にその旨を記入のこと。
4. 使用料金

	午前11時～ 午後4時	午後5時～ 午後8時
会議室 (30名～50名)	3,000円	5,000円
談話室 (20名～30名)	3,000円	5,000円

5. その他
使用目的が同窓会活動に著しく逸脱する場合は許可しません。
使用においては学校敷地内であることを配慮のこと。



第12期皆勤賞

S11本 卒	岸 田 政 子	S28 卒
S16本 卒	松 本 祥 子	S28 卒
S16本 卒	長 田 澄 代	S30 卒
S19本 卒	小 田 純 子	S31 卒
S20本4卒	縄 手 ケイ子	S31 卒
S21高等科卒	福 岡 繁	S32 卒
S22本5卒	大鍛治 和 美	S46 卒
S 25 卒	田 中 文	S50 卒
S 26 卒	福 味 真樹紅	S62 卒
S 26 卒		

第14期金蘭会セミナーへのお誘い

- とき 毎月第3金曜日
PM 6:00～7:00 卓話
PM 7:00～8:00 交流会
- ところ 金蘭会ホール
〈通信費〉年間1,000円(年10回 往復はがき代)
〈参加費〉当日徴収 1回1,000円(軽食費込み)
- 申込方法……金蘭会セミナーの通信費1,000円を、「大手前だより」に同封の振込用紙にてお振り込み下さい。振り込んでいただいた方に毎月往復はがきにのご案内いたします。出欠はその都度お返事ください。参加費1,000円は当日いただきます。(同伴・ピシターは1,500円)

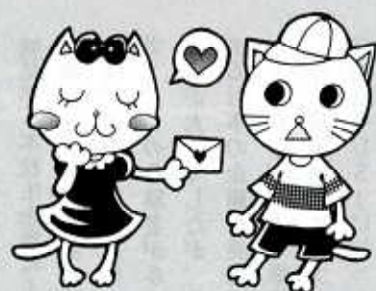
予告 9月18日 テーマ:「梅田北ヤード2期開発への期待」

講師 篠 崎 由紀子氏(S40卒)
株式会社都市生活研究所 代表取締役
社団法人関西経済同友会 常任幹事
梅田北ヤード委員会 委員長



金蘭会組織

会 長	安 橋 興二郎
副会長	米 田 玲 子
	上 川 庄二郎
会 計	田 原 由 夫
	平 松 美 樹
書 記	大鍛治 和 美
	福 味 真樹紅
総 務	留 井 恵 子
	安 積 香代子
	田 中 文
	渥 美 寿 雄
	横 幕 久 治
監 事	勝 部 慶 次
	貫 井 昌 博

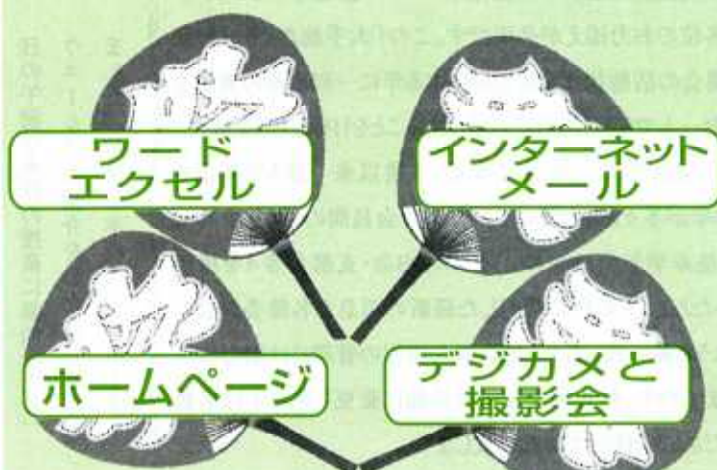


【委員長（理事）】

組 織	田 中 宏 幸
広 報	大鍛治 和 美
I T	藤 原 啓 助
会員名簿	石 川 温 子
金蘭会文庫	渥 美 寿 雄
運 営	留 井 恵 子
金蘭会 セミナー	福 味 真樹紅 (リーダー)
行 事	安 積 香代子
国際グリン賞	多 田 嘉 孝
母校支援	升 谷 博



金蘭会ホ-



金蘭会パソコンスクール

開催日：月・金曜日 2～5時pm

場 所：金蘭会館

費 用：1時限（2時間）当り500円

- ビギナーの方も気楽に学べます
- サロンのようななごやかなムードのスクールです
- 同級生のお助けマンがお手伝いします
- 年に2、3回パーティを開いています
(昼食をはさんで年賀状や名刺を交換します)
- 大阪城公園でデジカメの撮影会を開催しています

お問合せとお申込は

町 田：TEL 072-857-0319/FAX 072-857-0319
留 井：TEL 06-6383-0315/FAX 06-6383-8020
金蘭会HP：http://kinran.jp/school/index.html

同好会

ご参加お待ちしております

	身近な法律Q & Aゼミ	源氏物語 講読会	金蘭会フォークダンスサークル
内 容	身近な法律問題について講師の先生に具体的な事例を出していただき、皆で考えます。最後は弁護士さんにまとめの解説をしていただきます。 年1回刑事事件の法廷傍聴もあります。	宇治十帖の3人の女性、大君、中君、浮舟の物語を読みすすめてきました。今年度は、浮舟の物語を深めます。毎回、発見を経験しつつ、構想の骨格を確かめ合い、一部二部にも否応なく通り、くりかえし語り合っております。	「フォークダンス」へのお誘い。第2、第4火曜1時から太田コーチのもと老化学習を兼ねて楽しく踊っております。男性が数名?の為、特に男性大歓迎!一度お立ち寄り下さい。
講 師	弁護士 田中宏幸氏(S49卒)	松野由子氏(S23卒)	インストラクター 太田哲子氏(S27卒)
日 時	7月17日(金)、11月20日(金) 午後3時～5時 (法廷傍聴)10月16日(金) 午後0時45分～3時 (忘年会)12月	毎月 第3火曜日 午後2時～4時	毎月 第2、4火曜日 午後1時30分～3時30分
費 用	年会費 5,000円 (実費、茶菓子代込み年6回)	参加費 2,000円	入会金 1,000円 レッスン料(1回) 700円
お 問 合 せ	大塚徳子氏(S26卒) 072-229-1557	古武ゆうこ氏(S44卒) 06-6766-3470 堀川伸子氏(S44卒) 072-258-0016	赤松峰子氏(S29卒) 06-6651-4820 横山津弥子氏(S38卒) 072-891-2280

金蘭会

第回	月 日	
121回	平成20年 9月19日	薬
122回	10月17日	ア
123回	11月21日	ワ ～
124回	平成21年 1月16日	映 ～
125回	2月20日	70 ～
126回	3月27日	魅
127回	4月17日	『運 一
128回	5月15日	『天
129回	6月19日	ガ! 一 特
130回	7月17日	未 一

白 山 光
岩 田 和歌
得 津 美智
濱 代 恵美
苗 崎 壽
島 西 俊文
大 宗 千枝
相 塚 照
大 塚 徳
福 渡 澄



名簿委員会

会員の皆様には平素からご協力いただき有難うございます。名簿委員会の最も重要な活動は、最新かつ正確なデータの管理ですが、これには何よりも会員各位のお力添えが必要です。この「大手前だより」は、会員の皆様に金蘭会の活動状況をお知らせする年に一回のみの貴重な機会ですので、お一人でも多くの方にお届けすることを目標にしています。

毎年この欄でお願いしていることですが、卒業以来一度も学年会を開いていない学年が多々あると聞いていますし、会員間の繋がりを再確認するために是非学年会・クラス会・クラスOB会・支部会等々を積極的に開催していただき、その折に判明した最新の消息を名簿委員会にご提供くださるようお願い致します。勿論個人情報管理には細心の注意を払っておりますので、個人的な住所その他に変更も速やかに事務局まで一報くださるよう併せてお願い致します。

なお、会員名簿の残部がまだ多少ありますが、これは平成18年版のもので、ご購入の際には既にお持ちのものと同じでないかをご確認のうえ同封の振込用紙にてお申し込みください。

(名簿委員会委員長 S33卒 石川 温子)

第12回 国際グリム賞

員の評価も考慮の上、青山学院大学名誉教授の神宮輝夫氏に決定しました。日本人の受賞は、鳥越信氏に次いで二人目の受賞です。同氏は児童文学の研究、創作、翻訳において、傑出した児童文学者であり、国内外の児童文学作品・研究についての幅広い活動を行っておられます。日本における世界の児童文学の受容等の学術研究などによって、児童文学研究の促進と発展に多大な貢献をされると共に、児童文学作品の解説、紹介、翻訳などを通して、広く児童文学を普及されました。一九七〇年国際アンデルセン賞選考委員を務められるなど、児童文学普及のため国際的に活躍され、これまで日本児童文学



第十二回国際グリム賞の受賞者は、日本の神宮輝夫氏に決まりました。

神宮輝夫氏（日本）に決定

者協会賞など数多くの賞を受賞されています。主な著書として「児童文学の主役たち」「現代イギリスの児童文学」「世界児童文学百科 現代編」など多数があります。なお、授賞式は本年十一月に予定されております。同氏による記念講演会も予定されておりますので、金蘭会会員の皆さんの参加をお待ちしております。

さて、国際グリム賞を共催しております大阪府立国際児童文学館は、橋下大阪府知事の「大阪維新」プログラムの名のもとに廃止されることに決まりました。去る三月に開催されました大阪府議会にて「児童文学館の廃止条例案」を移転にかかわる経費を含めた当初予算案が提案され、両案とも可決・成立となりました。国際グリム賞の存続につきましては、現在大阪府において検討中ですが、大手前高校創立百周年記念事業として誕生し、世界の児童文学界からも大きな評価を得ていますだけに、廃止に決まることがあれば、とても残念でなりません。何とか存続が図れますよう大阪府等関係者の皆様の今後の取り組みに期待をしております。

(国際グリム賞委員長 S30卒 多田 嘉孝)

母校国際交流事業

平成二十年度英国国際交流

平成十五年七月より始まった「金蘭会」の支援による英国・ウェールズのペングライズ校との交流事業は、すっかり大手前の行事として定着し、今年で七年目を迎えました。

平成二十年七月八日(火)～十七日(木)には、ペングライズ校より生徒五名と付添教員二名が本校を訪問しました。ペングライズ校生はそれぞれ、本校生徒の二軒の家庭に週末を過ごして滞在了ました。九日はまず、体育館での歓迎式があり、大手前生に温かく迎えられました。滞在期間中、平日の午前は本校の授業に参加したり、ウェールズの紹介をしたりしてくれました。午後は本校生のサポーター

とともに、和菓子作りや書道・大阪城見学・本校生企画による大阪案内・京都見学・港南造形高校での陶器作り等、様々な活動を行いました。サポーターの希望者が多くて割り当てるのが大変でしたが、それぞれ担当する行事の企画や英語での説明プリント作りなど、よく準備してくれました。週末はホストファミリーと共に奈良やU.S.J.に行ったり、近くの神社を訪れたり、家族の一員として過ごしました。十五日には金蘭会主催の送別会が金蘭会館において行われ、ペングライズ校生はお茶席も体験しながら、金蘭会員・ホストファミリーや多くの生徒となごやかに交流し

ました。送別会は今回初めての試みとして「浴衣パーティ」とし、ペングライズ一行も全員浴衣姿、これはとても好評でした。彼らは「すべてが素晴らしい体験でした」、「生徒もホストファミリーも本当に親切で、感謝しています」等のメッセージを残して、元気に英国へ帰って行きました。

平成二十一年七月六日(月)～十九日(日)には、本校より生徒八名と付添教員二名がペングライズ校を訪問する予定です。本事業に対する生徒の関心はこれまでから高かったですが、今年はさらに一層高まり、八名の派遣に対して一年生九十三名、二年生五十一名、あわせて百四十四名もの応募がありました。



各委員会より

▼IT委員会.....

IT委員会は、一般事業として、金蘭会のホームページ「WEB金蘭会」の運営と、特別事業として、パソコンスクールの運営（金蘭会館において開講）を担当しています。

ホームページ

ホームページへのアクセスの状況は年間約20万件で、在阪七高校の同窓会のホームページについて、デザイン、構成、情報発信機能、リンク、資料提供、更新頻度に分けて調査した結果、六校会（北野中学・高等学校同窓会）のホームページ（年間約40万件のアクセス）に次いで金蘭会のホームページは充実したものになっています。なお二層、ホームページの充実に向けていきたいと思っています。

パソコンスクール

パソコンスクール開催日数は、イベントを含んで60日、119時限で、1時限当りの平均受講者は9.2人となっています。平成二十一年度も月・金曜日のうち開催可能な日に開講する予定です。お助けパソコンが一对一で指導しており、受講者の皆様は楽しくパソコンに取り組んでおられます。

IT委員会はボランティアで集まった会員で運営しています。実作業をしていただける人手が不足しており、ホームページへのアップなどが遅れがちになっています。委員会活動に協力していただける方がおられましたら、是非ご連絡下さい。お待ちしております。

（IT委員会委員長 S 28卒 藤原 啓助）

▼行事委員会.....

新入会員歓迎会

平成二十年卒の新入会員三百十四名を歓迎して、九月七日（日）金蘭会ホールに於いて、新会員百三十四名が出席し開催されました。

美味しいお料理とケーキや果物、出席者全員への参加賞、先輩会員ご提供の様々な賞品が当たるゲーム等で、新会員を歓迎しました。卒業後初めての学年会で同窓生との会話も弾んでいました。【写真】

今後の同窓会活動への理解と参加につながって欲しいと思います。

なお、当日のスナップ写真が金蘭会館のパソコンに入っていますので見に来てください。プリントできます。

（月火木金の午後一時から四時までに電話で確認してから）来館ください。）

（行事委員会委員長 S 40卒 安積 香代子）



平成二十一年卒の皆様へ

今年度の新入会員歓迎会を、母校の文化祭の日程に併せて開催します。

日時 平成二十一年九月六日（日）

十二時三十分より

場所 金蘭会館二階 金蘭会ホール

会費 無料

内容 立食パーティー ゲーム

メールでの申し込み締め切り

八月二十七日（木）

あて先 金蘭会事務局

電子メールアドレス: kimranj@letoconet.net.jp

詳細は、往復はがきにてご案内致します。
◎奮ってご参加ください。

▼組織委員会.....

昨年度から、同窓会活動を活性化することによって、会員の皆様の親睦をより深めて頂こうと、左記の案を理事会に提案しています。

記

一、異業種交流会開催

二、学年同窓会開催サポート制度創設

三、京阪支部設立

（組織委員会委員長 S 49卒 田中 宏幸）

坪井先生をお偲びして

紫 蘭 会

若葉青葉の清々しい平成二十一年四月三十日、大阪城を間近に眺める「KKRホテル大阪」に於いて、昨年十二月二十九日に急逝された恩師「坪井明先生を偲ぶ会」を開催しました。

顧みて昭和十九年、私たちの学年主任をして下さった坪井先生は、応召で大阪の軍隊に入隊中も、大阪城内、造兵廠に学徒動員で勤務していた私達の現場に、度々と激励に来て下さいました。

終戦後凡そ二十三年を経て編纂された卒業記念誌「若い芽」第二号には十六人の恩師のご寄稿、平成五年発行の「若い芽」第二号には国語の教師であった坪井先生のご指導も頂いて、当時の学年評議員の方々の尽力で、多くの同窓生の記録と大阪の歴史も収められています。

先生は又、私達四年卒業生の学年同窓会には、毎会出席して下さい、常々温かいお励ましを頂いてきました。学年会の名称「紫蘭会」の名付け親でもあり、金蘭会の「蘭」と美しい紫蘭の「紫」をかけて付けて下さったのです。

数年前、奥様に先立たれた先生は、五人のお子様ご夫婦の温かい支えで、数年を過ごされましたが、体調を崩され、療養後、医療設備の整ったホテルのように眺望の素晴らしい住まいに居を移され、私達にも遊びに来るようにとお声がかかり、交代で度々お訪ねしていました。

昨年、先生が来年少の会をここでしたい、紫蘭会の皆さんも来てほしいと要望されました。その打ち合わせに何った翌々日、突然帰らぬ人となられた先生。近親者のみでのご葬儀と伺い、弔電とお花をお送りしました。そして今年の先生のお誕生日に「偲ぶ会」を開き、ご遺影に花を供えて思い出を語り合い、安らかに眠り下さいと献杯し、お別れの会を閉会しました。合掌

S 20・4卒 並木・苗代

12

学年会だより

金桐会 卒業六十周年を迎えて

(昭和二十三年卒)

前夜からの雨も上がり、二〇〇八年十月十五日はずばらしい秋晴れとなりました。卒業六十周年の節目となる同窓会をリーガロイヤルホテルで開催致しました。

卒業当時は約二〇〇名の同窓生が今年までに四十人も亡くなられていて、本当に淋しい思いを致しました。出席された三十四名の皆さんと冥福を祈り、黙祷をささげました。

宴会に移り、当ホテルの自慢の中華料理をいただきましたが、六十年前の頃、私達は何をしていたのかと話ははなはだしく面白かったです。

動員で高槻の寮に入り、毎朝工場に通った頃の事、夜中に空襲になると竹ヤブや麦畑に避難し大阪方面が真っ赤に焼けて、帰る家がなくなくなった友など胸の痛む話や終戦後の食糧難時代も乗り越えて、今日まで無事こられた事、今は懐かし、時間が経つのが早く思ひ出は尽きませんでした。



記念品を配られ、校歌を合唱して閉会となりました。

来年度の幹事様にバトンタッチしましたが、又、次も元気でお目にかかれますように楽しみにしております。

宮本 千代子

三期生学年会

(昭和二十六年卒)

昭和二十三年、学制改革によって、小学校以来初めて男女席を同じうした私達三期生は、一年おきに同窓会を開いています。

我々学年のクラスは八つあり、学年会は一クラスずつで担当幹事をする事になっており、当番クラスはそれぞれ趣向を凝らし、会を盛り上げるのに努力しています。

後期高齢者の集まりにも拘らず、今回も七十四名が出席し、昨年(平成二十年)十月十六日、桜ノ宮太閤園ガーデンホールで美しい庭園を眺めながら、賑やかに開催されました。今回欠席した人達の消息を確かめあつたり、久しぶりに顔を見せた旧友と語り合うなど、懐かし、楽しい一刻を過ごすことが出来ました。

親しくしていた友人達のさびしい噂を聞き、残念至極の思いです。

とは言っても、同窓会に参加される方々はまだまだ元気で、次回もその次も出席されることでしょう。

日本には、百歳以上の人が三万人もいるそうです。それに向かつて、また新しい目標を作つて、この会がいつまでも続けられることを願っています。

会のあと、都合のつく人達は二次会にも雪崩れこみ、定番のカラオケで更に懇親の度を深め、皆々満足の日であったようです。

上野 晴夫

七十七の祝いの会を前にして

(昭和二十七年卒)

今年は私達の学年の中で、昭和八年生まれの方々、数え年で七十七才のお目出度い節目の年を迎えます。そこで一同に集まり、この年まで変わらなく過ごせたことをお互いに喜び合えるよう、喜寿祝賀記念学年会を六月二十日に、金蘭会員の女将が三代続く、船場

の老舗料亭「花外楼」で開催します。

残念ながら、会の様子は締め切りの関係でお知らせ出来ませんが、出席された方は良かったと思われよう。

次の記念学年会は、平成二十三年の卒業六十周年です。これに向かつて皆様が健康であることを祈念して学年会だよりとします。

升谷 博

五期生学年会報告

(昭和二十八年卒)

新型インフルエンザが猛威を振るっている折から、五月二十三日、岸田、永田の両先生をお迎えして、学年会を例年どおり「徐園」で開催しました。インフルエンザ騒ぎで、開催が危ぶまれたが、高齢者には感染しないという俗説を信じて例年より少ないながら、四十五名が参集した。新たに五名の死亡が分かり、物故者の総数は二〇三名となった。五島君から、昨年末に亡くなった嘉悦、勲君の遺稿著作集の紹介があり、希望者は購入を依頼した。

年一回の学年会で、参加者の顔ぶれも固定化しているが、これからもできるかぎり続けて集まろうということになり、来年も元気で再会することを約して散会した。

嘉悦君の遺稿著作集の紹介

第1巻 詩集「一歳の唄」：家庭生活の描写、死生感など。

第2巻 詩集「漱石と鷗外」：漱石と鷗外だけでなく、多くの文学者、詩人、政治家を網羅した明治・大正・昭和の文学論・政治史を詩で表現。音楽評論も。

第3巻 評論「文学と科学はいかにして融合しうるか」：文学と科学の融合という嘉悦君の生涯のテーマを漱石、鷗外等を題材に総合と創造の観点から論じた力作。

価格 四、七四〇円(税別定価の八割)

四、四〇〇円+送料三四〇円)

購入希望の方は五島満朗君まで TEL: FAX 0725-38-2226

藤原 啓助

六期会学年会のお知らせ

(昭和二十九年卒)

昨年は、京都在住の皆さんにお世話になり、晩秋の比叡山で開催しました。

京都駅に集合して観光バスで比叡山に登り延暦寺根本中堂に参拝したあと、琵琶湖を眼下に望むリゾートホテル「ロテル・ド・比叡」で懇親会を開催しました。フランス料理のフルコースを堪能し、宿泊組は夜の更けるのを忘れて飲みかつ語り合いました。

翌日は有志で、雲海の中をケイブルカーで八瀬に下り、臨時公開中の瑠璃光院を拝観しましたが、庭園の紅葉が実に見事でした。次はぜひ関東ということになり、今年平成二十一年度は東京地区在住の方々で幹事を担当していただくことになりました。その結果、天下の名勝箱根で開催することを決めていただきました。

開催日は十月十八日(日)・十九日(月)で、宿泊先は仙石原の「パレスホテル箱根」です。ルノアールなどのフランス印象派の絵画の蒐集で知られるポーラ美術館を訪れることも計画して下さっています。

すでに学年の全員に概要をお知らせしていますが、参加の意思表示(未定を含む)をいただいた方には改めて、確定したスケジュールをお送りする予定です。お返事がまだの方は、早急に連絡してください。多くの皆さんとの再会を楽しみにしております。

六期会学年会幹事一同

古希を祝う会

(昭和三十三年卒)

光陰矢の如し、ついでこの間遷葬を祝ったばかりなのに早十年、全員が古希を迎えました。そこでこれを記念し学年会を計画しました。

今回の企画は、昔でいえば美濃・飛騨・越中を巡るバスの旅です。東海北陸道の開通で以前より快適です。行き帰りの昼食はこだわ

りの食事処ですし、宿泊地は敢えて有名な温泉地を避け、庄川に沿って建つ、もてなしの宿「ゆめつづり」にしました。多彩な温泉と富山湾や砺波平野の旬の食材を生かした郷土色豊かな料理を十二分に堪能して戴けます。

卒業以来五十一年、車や家電品など物質的には飛躍的な進歩を遂げました。しかし、精神的に豊かになったでしょうか。この旅で古き良き日本の文化に触れ、少しでも癒され、心豊かな気持ちになつて戴ける事を望みます。詳細は八月末に案内状を送りますが、左記の概要ですのでスケジュールを空けて戴ければ幸いです。

●開催日 十月二十八日(水)二十九日(木)

●発着場所 関西の方 大阪梅田

●費用 関西の方 新幹線 岐阜羽島駅 関西の方 約四七〇〇〇円

●費用 関東の方 約四二〇〇〇円

※出発から帰着までの交通費、食事代、宴会宿泊費 石川 温子

卒業五十周年学年会

(昭和三十四年卒)

昭和三十四年卒、十一期生の私達は今年五十周年を迎えました。

その記念すべき学年会を、六月二十八日、KKRホテル大阪で開催致します。

はるか半世紀も前に校門をくぐった同期生が、わずか三年の高校生活をともにしたことで、よって友情を育み、絆を結び、この記念会を迎えられることは誠にうれしい限りです。

同期四百名の内、残念ながら物故・住所不明五十数名を数えますが、いまだ三百四十名を超える同期に呼びかけることができます。

さらに今年は、今までの学年会で最多数の一五〇名の同期生が集う予定で、指導頂いた恩師もお迎えして、盛大な会になりそうです。

私達は、卒業十五年目から学年会を始め、五年毎の大会だけでなく、毎年交友を深める学年会を催してきました。十一期生に因み、和気藹々との思いをこめて、二十年ほど前に

「I-I(アイアイ)会」と同期の会名を決めてから、年を経ることに呼びかけに応じてくれる友が増えていきます。

五年毎に発行する同期生の名簿も、毎回手作り、今回で七冊目となり、昭和五十四年以来三十年にわたる学友の軌跡をたどることが出来ます。

卒業五十周年、遠来の学友とも旧交を温め、今年の記念会を楽しみ、時にしたいものです。

貫井 昌博

四十五周年記念同窓会のお知らせ

(昭和三十九年卒)

私達の学年も卒業四十五周年を迎え、今秋に一泊(日帰りも可)箕面観光ホテルで同窓会を開催することを計画しました。左記の通りご案内をいたしますので、万障繰り合わせてご参加くださるようお願い申し上げます。詳しい案内は八月初めに再度ご通知いたします。今から予定に入れておいて下さい。

記

場所：箕面観光ホテル

日時：十月二十四日(土)二十五日(日)

☆一泊を予定していますが、日帰りも可能です。

費用(予定)：「一泊」一万六千円

「日帰り」一万円

幹事：留井、石田、大山、川端、米田、小寺

「ワインの会」報告

(昭和四十年卒)

平成二十年十二月二日の夕べに金蘭会館で「ワインの会」が開催されました。

集まったのは昭和四十年卒を中心に、四十二年卒や五十年卒の方々を合わせ約五十名の同窓生です。

私も、「美味しいワイン付き」の二言に乗っていき、そと参加しました。

当日は、まず、東京工業大学教授の赤池敏宏氏(S40卒)が、氏の研究テーマである高分子化学(工学)と生命科学(医学)の融合とい



う学際領域での最先端の研究状況について、わかりやすく講演されました。続いて、中央葡萄酒(株)ミサワイナリーでワイン用ブドウの栽培に農場長として活躍してきた赤松氏(現参事、S40卒)が、ワインの講義を交えて、還暦

からの人生を如何に生きるかという話をされました。そして、参加者も各自の人生について、順に一言ずつ披露するという流れになりました。

ただ、この辺りの状況は赤松氏が持参された美味しいグレースワインをいろいろと飲みながらのことでもあり、多少の誤差は許容してください。

とにかく、美味しく楽しい「ワインの会」でした。

九組 林

学年SNS大盛況

(昭和四十九年卒)

昨年5月の学年同窓会の際に、学年同窓生だけが参加できるネットワーク作りを提案し、I君の全面的協力の下、昭和49年卒のサイト(SNS)が昨年夏から本格的に動き出しました。現在、参加者は一〇一名になり、連日楽しく愉快な交流がなされています。

このサイトには、学年同窓生以外の人は入れない仕組みになっていますので、安心して高校当時の気分に戻って交流ができています。

「自身の出来事を「日記」に書く」と、それにコメントがどんどん寄せられて「会話」が始まったり、「コミュニティ」に健康関連の話やマラソン大会の話などを書く、各自の体験談や励ましの言葉が始まったりと、それはもう話は尽きません。まるで毎日が「同窓会」のようです。特に写真の添付が盛んで、一層親近

感をもって「会話」がはずみます。また、金蘭会本部及び各支部の活動の状況についても掲載しています。

未だ参加されていない昭和49年卒同窓生の方は、遠慮なく左記までお問い合わせ下さい。

TEL 〇六-六六三-三〇〇五

FAX 〇六-六六三-三〇一五

田中 宏幸

やります、卒業三十年周年！共通次元会

(昭和五十四年卒)

「二十五周年はやらのか？」という声にはお応えできませんでしたが、お待たせいたしました！二〇〇〇年三月以来の学年同窓会のご案内です。前回は約二百名の参加でしたが、参加できなかった二百名の方々、十年ぶりの雪辱です。今回は卒業式以来の全員参加をめざしましょう。

「アラフォー」を通り越し「アラフィフ」となつてしまいましたが、もしかしたら、そろそろ第二の青春時代に入っていく頃なのかも。今度の同窓会で、お互い元気をもらい合えたいですね。

〇日時 二〇〇〇年三月二十二日(日)

午後三時～六時(予定)

〇場所 ホテル京阪ユニバーサルタワー

※詳細は追ってご案内いたします。

今後、同窓生の皆さんにはできるだけメールを活用して連絡を図りたいと思います。是非、連絡を差し上げてほしいメールアドレスをお知らせください。

同窓会のHPを立ち上げました。アドレスは <http://www.geocities.jp/otemae31ki/> です。また、ブログも立ち上げていますので、是非、ご参加ください。

<http://blog.geocities.jp/otemae31ki/> 連絡やお問い合わせは左記までお願いいたします。

TEL&FAX 〇六-六八三-二九八七

メールアドレス nogu31@renai.jp

野口 幸一

支部この一年

南海支部

・年一回の懇親会

本年度は、五月十七日(日)に何かと話題になりましたWTCのお隣、ハイアット・リージェンシー・オオサカの四月十八日にオープンしたばかりのゲストハウスにおいて、懇親会を開催致しました。

懇親会では、永田裕保氏(S60卒、歯科医)による、「食育」楽しく食べて豊かな人生」というテーマの講演を拝聴しました。ホテル自慢のコース料理を賞味した後、恒例のテーブル対抗の「面白クイズ」は、なぞなぞを中心に出題され、皆さん頭をフル回転させてチームワークよく解答され、豪華な商品を獲得されていました。会場となったホテルの社長さんが金蘭会会員ということで提供いただいた、中国料理「天空」のディナー券(ペア)は、特別賞として抽選しました。

華麗な雰囲気の中で皆さん非日常の楽しい時間を過ごしていただきました。

・法廷傍聴会

五月二十七日(水)に、大阪地方裁判所において、恒例の法廷傍聴会を行いました。本年五月から裁判員制度が実施されるということもあって、真剣に刑事裁判を傍聴されていました。

・南海支部ニュースの発行

お除きまで、毎年発行しております南海支部ニュースが、本年度第10号となりました。さらに、充実した内容となりますよう、努力いたす所存です。

南海支部は、金蘭会会員の方なら、居住地にかかわらず、どなたでもご参加いただけますので、関心をお持ちの方は、下記までお問い合わせ下さい。

(南海支部事務局)

〒556-0011

大阪市浪速区難波中3-5-4

難波末沢ビル3階

田中宏幸法律事務所内

支部長 S49卒 田中 宏幸

TEL 06-66330-3000

FAX 06-66330-3015

阪神支部

今年の総会は四月十二日、例年通り宝塚ホテルで開かれました。「今年も会えてよかったわあ!」意中の人を発見するや否や進み出るお喋りはそのまま会場へ。「スママセン、ここで会費をお願いします」時々うっかり円所破りも。これが毎年の受け付け風景です。「世間の神が一瞬にして脱け落ち、即大手前時代へと遡る。そんな思いになれる場所がある」といいなあ。これも毎年思うことです。

さて、今年は昭和二十七年「卒業」の楠年明氏をお迎えし、藤沢周平の「踊る手」の朗読をお願いしました。登場された楠氏はテレビで慣れ親しんだ「赤かぶ検事」のあの裁判長そのまま。でもお仕事柄か、お若いのにびっくり致しました。その裁判長殿のお声が響き渡り判決文を待つていた私達をいつのまにか江戸の庶民の日常へと引き込んでゆきます。

主人公、十才の少年「信次」を通して語られるのは、貧しいけれどあきらめず、したたかに生きる人達のこと。語る声だけでその世界を彷彿とさせ、時には登場人物に思いを馳せる聴衆を涙くませるその表現力には、さすが「俳優」と感服させられました。

結末には厳しい中にもほっと安堵させられましたし、作品の題名がどうして「踊る手」なのか、その謎も解けましたし、で、幸せな気分が食事に向き合うことができました。

同じテーブルの者同士、学年を越えてのお喋りは、先輩を通して母校の歴史を垣間見る思いのひとつでもありました。

あの日、升谷会長より頂いたご挨拶の中に「同窓会とは母校愛を育み同窓生の親睦を

図るのが目的」とのお話がありました。

阪神支部もその目的に沿って成長してゆけますようにと願っています。

S37卒 佐々木 欽子

TEL/FAX 0798-511-0017

S32卒 真辺 和子

京都支部

京都支部では、年一回の総会・懇親会を京都や滋賀の名利・名園等を選んで、春または秋の土・日曜に開催しています。昨年は、支部創立五十周年ということで、いささか盛大に催しましたが、今年は六月二十一日(日)に京都円山公園内「長楽館」において例年どおり開催いたしました。

「長楽館」は明治の煙草王 村井吉兵衛の別邸跡で、立教大学学長で宣教師のアメリカーナガリーナーの設計・監督の下、五年の歳月を費やし一九〇九年(明治四十二年)に完成したものです。命名は、幕末に訪れた伊藤博文公が、窓からの見事な眺望を七言絶句の漢詩によまれ、扁額に「長楽館」と揮毫されたものです。ルイ15・16世時代の重厚なインテリアが、ひととき豪華な雰囲気を感じさせています。一九八六年に京都市有形文化財に指定されました。今回は「長楽館」の建物や家具調度品について、京都市文化財保護課の石川祐一さんにお話を伺いました。

当支部は年会費を頂いておりませんので、どなたでも参加して頂けます。案内状は主として京都府及び滋賀県在住の金蘭会会員の皆様へ送付しておりますが、案内状を必要とされる方は、遠慮なくお申し出下さい。

〒六四一八三六二

TEL/FAX 075-981-1544

支部長 S28卒 藤原 啓助

近鉄支部

近鉄支部では総会を毎年秋に開催してお

ります。昨年は奈良市内の近鉄奈良線富雄駅近くにある二万坪の大庭園を持つ料亭「百楽荘」で紅葉真っ盛りの中で開催され、料理と紅葉を楽しんでいただくとともに、今回は戦後から八十才の今もお現役で歌い続けておられるジャズシンガーの藤田博氏をお招きして、どなたでも知っておられるポピュラーな名曲十五曲を選んでトークを交えながら約一時間に渡って歌い続けて戴きました。懐石料理に加え、秋の景観と精力的なジャズの数々を十分に満喫されたことと思っています。

今年は十月下旬から十一月上旬の間に、三笠山の景観のよい場所での総会開催を予定して準備を進めています。講演は灘の酒造会社の醸造部の方をお願いして、技術者の視点から日本酒の楽しみ方を話して戴く予定を立てております。今年は近鉄と阪神電車直通で繋がりが、交通の便がよくなったことでもあり、近鉄支部の方のみならず、阪神間の方々にも多数御参加戴けるものと期待しております。

なお、当支部への入会や、行事への参加やお問い合わせ、御意見などがありましたら左記へ御連絡下さい。

住所 〒631-0024

奈良市百楽園二丁目五番十二号

TEL/FAX 0742-451-5973

支部長 S30卒 高橋 仁志

阪急支部

阪急支部・平成二十年度の行事
●第六十回阪急支部総会

九月二十一日(日) 六十名参加

とで、母校から斎藤良昭校長先生、恩師の岸田善三郎先生をお迎えして行いました。足立勝氏(S29卒)の軽妙な御案内で、若い音楽家たちによる、フルート、ヴァイオリン演奏を楽しんだ後、林家染筆師匠の落語と、盛り沢山の内容でした。

●お楽しみバス旅行
十一月五日(水) 二十四名参加

大阪歴史博物館を覗き、仰ぎ見る大阪城天守閣の変らぬ姿に対し、NHKをはじめ、変貌著しい馬場町周辺の景色に驚き、その後、大阪南港に足を運び、ハイアット・リージェンシー・オースカで食事をいただき、サントリーミュージアムへ回りました。

知っているようで知らない大阪、変わりゆく姿の中に変わらない何かを見つけようという旅でした。

●新年会 二月八日(日) 七十一名参加
恒例の奥本登氏(S37卒)出題のクイズを楽しんだのち、キングレコード所属の荻野兼司氏の歌、その後は出席者飛び入りのカラオケ大会とすっかり盛り上がりました。
S30卒 森 延哉

東京支部

東京支部は、首都圏を中心に、名古屋以東北海道までに在住される金蘭会会員を対象とし、二〇〇九年三月末現在の会員数は、二六八名となっております。毎年開催される総会、懇親会は、毎回、当番に当たる学年幹事(卒業後30年を経た学年)の皆さんの心意気、心遣い、心配り溢れる素敵なお集まりとなっております。昨年、東京支部の新年会、金蘭会、金蘭会会長の斎藤良昭大手前高校校長先生のご来賓、二五名の会員の方のご参加のもと、開催されました。メインイベントには、幹事学年の同期生カブールの二子息、梶原 紘さんと、そのお仲間による管弦楽カルテットをお迎えし、モーツァルトからピアノといった幅広いジャンルの優雅な、そして躍動感あふれる音楽を演奏していただきました。同期生や先輩後輩との懐かしい語らいやグラントハイアットの美味しいお食事に、時の経つのを忘れるほどでした。

楽しみいただきます。中村扶実さんは「水都一〇〇年」にも参加され、「MIO 滞り水都ものがたり」を作詞作曲されています。

東京支部では今後、今年大手前高校を卒業された方々をはじめとした若い方にも気軽に参加していただけるような活動や、昨年は昭和九年卒の大先輩が六名も参加された地区会のような、学年・年齢を越えた交流の場の充実を図っていきたく考えています。

東京支部のホームページもぜひご覧ください。
URL: www.kinankai.jp/~kinan/
東京支部総務担当
佐藤真理&徳野千鶴子(S50卒)

会員からのお便り

☆「吹奏楽部員・茶道部員と金蘭会総会に参加して」

秋風の吹く十月十一日、ドーンセンターにおける金蘭会総会に現役の大手前高校吹奏楽部員54名を引率し参加しました。ちょうど二年生が修学旅行より帰阪した数日後であつたため、十分年輩員だけのデビュー演奏と音楽部及び吹奏楽部OB・OGとの合唱・吹奏楽合同演奏というプログラムにしたいだき、楽しい演奏会になりました。二年茶道部員も総会後の茶話会でお手伝いをしていました。普段から、金蘭会館周辺で練習している時に親しく声を掛けていただく役員や会員の方々とご一緒出来たことは、とても記念になりました。また、又幸運にも吹奏楽部と茶道部が大阪府代表として十一月の近畿高等学校総合文化祭(徳島大会)に参加が決定し、その応援カンパを金蘭会の方々が積極的にしてくださった時は、部員一同驚き、本当に感激しました。そのカンパは交通費の一部にさせていただきます。徳島、鳴門市ですばらしい経験を積むことが出来ました。これも母校と母校生徒に対する愛情の表れと感謝しています。これからも折々に金蘭会の方々と生徒達が心の通った交流が出来ればと思っています。

母校音楽科教諭 橋本 昌子(S48卒)

☆剣道部

(剣道部OB・OG会)

創部五十周年記念の集いのご案内
今年度剣道部は創部五十年になります。それを記念いたしまして、左記の通り「剣道部創部五十周年記念の集い」を開催いたしますので、奮ってご参加願います。

日時・場所 平成二十年八月二日(土)

- 第一部 午後一時～午後四時頃(自由参加)
大手前高校剣道場(北野高校との対抗試合見学と地稽古)
- 第二部 午後六時～午後九時(予定)
(記念式典と宴)

シテイプラザ大阪
大阪市中央区本町橋二番三十二号

●問い合わせ先

- 内部良昭(S40卒)
携帯電話 〇八〇—三八四九—八六六〇
- 谷本敏光(S40卒)
TEL&FAX 〇七二—二九七—三二四四
- 左記ホームページにあります「MAIL」にてお問い合わせ、または「連絡下さい」ホームページ <http://otomae-kendo.org>

☆桐蹴会

(サッカー部OB会)

第七回総会(OB戦・親睦会)のお知らせ
平素は桐蹴会の運営に対し、心温まるご支援を賜り感謝いたしております。

昨年十一月十六日(日)、母校グラウンドにおいてOB戦を行いました。昨年同様、約百名が参加され、七十代の先輩から十代の学生まで、雨の中、みんな泥んこになり、童心に返ってサッカーを楽しみました。旧顧問の村田要二郎先生、尾上頭大先生も参加していただき、大いに盛り上がりました。夕刻より金蘭会ホールにて総会を開き、事業・決算報告をするのと同時に、現役のチームにドクターバッグとボールケースを贈呈しました。親睦会には、旧顧問の里藤平先生も駆けつけていただき、各学年からは色々なエピソードが披露されました。【写真】



さて、今年度の第七回総会・OB戦・親睦会は、十一月十五日(日)、母校で開催する予定です。九月頃に改めて詳細のご案内を差し上げますが、できるだけ多くの方が参加されることを願っております。

なお、今年度(平成二十年十一月から平成二十一年十月)の会費(三千円)をまだ納入されていない方は是非とも納入してください。

※ご自身ならびにご同輩などの情報提供、お問い合わせなどは左記までお願い致します。
〒五五九—〇八七四
吹田市古江台五—三十三—三〇八
TEL&FAX 〇六—六八三—二九八七
メールアドレス nogu131@renai.jp
野口 幸一(S54卒)

編集後記

三期九周年間にわたって会長を務められた升谷氏がお礼とを申し上げたいと思います。引き続き理事をして下さいますので、今後ともよろしく指導の程お願い致します。

新型インフルエンザのために、学校が一週間休校になったお礼を受けて、理事会も中止になり、広報委員会も持てず、各方面へは、原稿が届いているか等ご心配をおかけし、申し訳ございませんでした。日程的に非常にきつくなったのですが、間に合えずべく努力致しました。広報委員の「大手前だより」に対する思いを受け止めていただいて、どうぞお読みくださるようお願い致します。

(大)